

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立長南小学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童

実施児童数 96人

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語・算数及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成 27 年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 66.2／泉佐野市 66.7／大阪府 67.6／全国 70.0）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや少なく下位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 56.7／泉佐野市 59.2／大阪府 62.7／全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○「聞き方の説明として適切なものを選択する」に課題がある。</p> <p>三 「話の内容に対する聞き方を工夫する」 (本校 44.8／全国 53.0)</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>○「文の主語として適切なものを選択する」に課題</p> <p>2ー「文の中における主語を捉える」 (44.8／53.1)</p>	<p>【読む力】</p> <p>○「コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く」ことに課題</p> <p>5二「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」 (12.5／19.8)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】</p> <p>○「見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する」</p> <p>1二 目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける問題であり、文章の要旨を捉えられていない。 (本校 55.2／全国 70.8)</p> <p>○「学期の分担の決め方について、学期の分担図を基にして書く」</p> <p>2三 文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く設問だが、多くの情報や解答への条件が複雑化することへの不慣れさがある。 (30.2／41.6)</p>	<p>【読む力】</p> <p>○「目的に応じ、中心となる語や文を捉える」</p> <p>2ア 「選択肢」という語の意味が書かれていて、文中からその語の意味を捉える設問だが、言葉じたいが聞きなれないことで正答率が低かった。語彙力弱さがある。 (62.5／76.5)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の授業の内容はよく分かりますか	42.7	37.5	◇	5.2
国語の勉強は大切だと思いますか	75.0	65.9	◇	9.1
読書は好きですか	18.8	23.9	◇	5.1
国語の授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	67.7	56.8	○	10.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	30.2	42.1	○	11.9

○国語Aにおいて、すべての問題で無解答率が全国より低い。

○国語Bにおいて、記述式問題での無解答率が高い。特に、「まとめ」や「理由」についての記述で10～20%近くが無解答となっている。

○漢字は読みより書くことに課題がある。

○内容を「まとめる」・「要約する」・「自分の考えを書く」等、記述に関する正答率が低い。

○「長文から必要な情報を取り出す」、「複数の条件がある中でそれに見合う内容のものを探し出す」といった情報量の多い問題に課題がある。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 74.4 / 泉佐野市 73.5 / 大阪府 74.8 / 全国 75.2）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国に比べるとやや低位層に偏りがある。

平均正答率（本校 40.5 / 泉佐野市 40.8 / 大阪府 44.1 / 全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉えることが概ねできている。</p> <p>1（1）$8.9 - 0.7$の差の概算の結果として、ふさわしい数値を選ぶ。（本校80.2/全国71.0）</p> <p>○単位となる小数の幾つ分で、小数の大きさを表すことが出来ることが概ね出来ている。</p> <p>1（2）$5.21 + 0.7$は0.1が何個集まった数か（80.2/74.3）</p> <p>○異分母の分数の減法の計算をすることに課題がある。</p> <p>2（3）$5/9 - 1/4$を計算する。（75.0/81.4）</p> <p>○除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることに課題がある。</p> <p>2（4）$5/6 \div 7$を計算する。（76.0/84.2）</p> <p>【量と測定】</p> <p>○日常生活の中で必要となる時刻を求めることが概ねできている。</p> <p>3 午前3時10分までに図書館に着くために、所要時間の5分と20分を基に、家を出発する時刻を求める。（79.2/74.8）</p>	<p>○180°よりも大きい角のおよその大きさを、2直角、3直角を基に捉えることに課題がある。</p> <p>4（1）90°、180°、270°、360°を基準として角の大きさを見当付けたものから正しいものを選ぶ。（77.1/81.3）</p> <p>【図形】</p> <p>○示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することに課題がある。</p> <p>5（1）円の中心と円周上の二点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由として、最もふさわしい円の特徴を選ぶ。（43.8/50.6）</p> <p>○示された見取図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取ることが概ね出来ている。</p> <p>6（1）作成途中の直方体の展開図について、周りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを描く。（80.2/75.4）</p> <p>【数量関係】</p> <p>○グラフに表されている事柄を読み取ることが課題がある。</p> <p>7 ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ。（76.0/81.8）</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p>【数と計算・図形】</p> <p>○正三角形の性質を基に、示された周の長さから辺の長さから辺の長さが等しくなる位置を求めることに課題がある。</p> <p>3（1）周の長さが24mの正三角形を巻き尺でつくるために、それぞれのどこの目盛りのところをとればよいかを書く（本校29.2/全国32.5）</p>	<p>【数量関係】</p> <p>○示された情報から基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求めることに課題がある。</p> <p>2（2）20%増量した商品の内容量が480mLであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く。（9.4/13.1）</p> <p>○示された割引後の値段の求め方の中から誤りを指摘し、正しい求め方と答えを記述することに課題がある。</p>

<p>【数と計算】 ○概数を用いた見積もりの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述することに課題がある。 4 (3) 目標に達するには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く。(18.8/22.3)</p> <p>【図形】 ○示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述することに課題がある。 1 (3) 二組の道のりが、それぞれ等しくなることを書く。(16.7/27.7)</p>	<p>2 (3) 示された割引後の値段の求め方の中から誤りを見だし、正しい求め方と答えを書く。(36.5/51.0)</p> <p>【量と測定・図形】 ○長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述することに課題がある。 5 (1) 示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけをかく。(7.3/12.5)</p>
--	---

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	32.3	38.7	◇	6.4
算数の授業内容はよくわかりますか	55.2	46.9	◇	8.3
算数の授業で新しい問題に出合ったときそれを解いてみたいと思いますか	63.5	52.7	○	10.8
算数の問題の解き方が分からないときは諦めずにいろいろな方法を考えますか	59.4	45.5	○	13.9

【A問題】

- 基礎的な足し算や引き算は概ねできており、無解答率も少ないが、分数になると正答率が下がる。
- 角の大きさなど、図形問題を苦手とする児童が多い。
- 展開図など基礎的な問題はできているが、発展問題に課題がある。
- たくさんある情報の中から必要なものを選ぶことが苦手な児童が多い。

【B問題】

- A問題に比べB問題の方が、依然として大阪府や全国の平均との差が大きい。
- 生活にあった問題は解こうとしている。
- 問題の量が多いと、途中であきらめてしまう児童が多い。
- 記述式や理由を説明する問題が弱い。
- 図から考える問題は、依然として苦手な児童が多い。

【全体的に】

- 割合の問題が、依然として苦手な児童が多い。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 53.6 / 泉佐野市 53.6 / 大阪府 57.3 / 全国 60.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

理科	特徴がみられた設問	
【活用】	<p>○時計と振り子が結びついていない子が多かった。 1（2）振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ。 （本校49.0/全国61.2）</p> <p>○問題の情報量が多かった。 1（5）電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ。（58.3/72.7）</p> <p>○子どもたちが実験をしていたので良く覚えていた。 3（2）水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ。（55.2/54.0）</p> <p>○日頃、東西南北を意識していない。 4（1）方位についての情報から観察している方位を選ぶ。（29.2/41.0）</p>	<p>【知識】</p> <p>○育てた経験が良い結果につながった。問題が分かりやすかった。 2（1）メダカのおすとめすを見分けるための観察する部分を選ぶ。（88.5/78.0）</p> <p>○全国の正答率と比べると差が大きい。 2（5）インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く。（31.3/44.2）</p> <p>3（4）示された器具（メスシリンダー）を選ぶ。も同様の理由。（41.7/70.7）</p>

3. 学習状況調査より

質問項目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は大切だと思いますか	67.7	59.7	◇	8
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	37.5	30.1	◇	7.4
理科の授業で、自分の考えのまわりの人に説明したり発表したりしていますか	27.1	32.2	◇	5.1
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	6.3	45.8	○	39.5
理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	30.2	39.4	◇	9.2

○問題を読まず、解くことをあきらめてしまう。

○生活で体験していないこと、必要がないと感じたものは、覚えられない傾向がある。

○記述式の問題や理由を説明する問題が弱く、正答率も低い。

○読解力が低く、必要な情報を選択する力が弱い。

○持っている知識を応用することが苦手な児童が多い。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	「毎日食べる」の割合が少ない。また1名毎日食べていない児童がいる	○1. 朝食を毎日食べている <79.2/87.6>
	「4時間以上」が多い	○10. 普段1日当たりどれくらいの時間テレビやビデオを見たり、聞いたりしているか <30.2/19.2>
	「全くしない人」の割合が多い	○16. 学校の授業時間以外に普段1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。 <32.3/19.9>
【家庭学習の様子】	「している」の割合が多い	○21. 家で学校の宿題をしていますか <95.8/87.4>
	「あまりしていない」「していない」の割合が多い	○22. 学校の授業の予習をしている <45.8/37.3> <24.0/19.2>
	「あまりしていない」割合が特に多い	○23. 学校の授業の復習をしている <41.7/30.6>
【学校での学習の様子】	「達成感を感じている子ども」が多い	○4. ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある <90.6/72.9>
	「ほとんどいけない児童」の割合が多い	○17. 昼休みや放課後、学校が休みに日に本を読んだり、借りたりするために学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか。 <41.7/30.7>
	「楽しいと思っている子」の割合が多い	○24. 学校に行くのは楽しいと思う <79.2/55.3>

	<p>「いじめはいけないと思っている子」の割合が多い</p> <p>「当てはまる」の割合が多い</p>	<p>○34. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 <u><99.0/81.8></u></p> <p>○41. 授業のはじめに目標が示されていたと思う <u><70.8/57.5></u></p>
--	---	--

本校の取組み

◎これまでの取組み

【学習面】

(1) 少人数習熟度別指導

算数と国語を中心に、1つの学級を複数の教員で指導し、よりきめ細かな指導、発表や質問がしやすい環境を目指しています。

(2) 長南タイム（朝学習）

1時間目の授業が始まるまでの10分間を活用し、主に読書にとりこんでいます。

(3) サポートタイム（放課後学習）

金曜日の放課後、家庭と連携を取りながら、学習に課題があった子どもたちと学級担任が、課題を克服するためにじっくり時間をかけて頑張っています。

(4) スキルアップルーム

5・6年生の希望者を対象とし、子どもたち自らが進んで自学自習する態度を身につけることができるように実施しています。

【家庭学習面】

(1) 家勉（うちべん）ばっちりチャレンジ週間

家庭と学校が連携し、子どもの基本的な学習習慣の定着を図ることを目的に実施しています。

①毎日、机に向かう習慣をつける。②明日の準備ができるようにする。

【生徒指導面】

(1) いじめアンケート（学期に1回）、生活アンケート（月に1回）の実施

(2) セカンドステップ

◎これからの取組み

【学習面】

(1) 少人数習熟度別指導

継続します。

(2) 長南タイム（朝学習）

継続します。

(3) サポートタイム（放課後学習）

継続します。

(4) スキルアップルーム

継続します。

(5) 算数サポーター

算数に特化した支援を活用します。

【家庭学習面】

(1) 家勉（うちべん）ばっちりチャレンジ週間

継続します。

【生徒指導面】

(1) 服装や挨拶についてのキャンペーン（児童会中心に）の実施

(2) いじめアンケート（学期に1回）、生活アンケート（月に1回）の実施

(3) セカンドステップ 継続します。

◎今後の予定

具体的な内容については、今年度内に会議を重ね、決定していく予定です。